

ご協力ありがとうございました

平成26年10月1日～平成27年3月31日  
(敬称略・順不同)

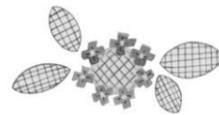
**寄付金**  
ラウンジ・ミンク  
瀬川 靖子  
島田 勢子  
国安 佐知

**募金箱**  
藤原 ミカ子  
寺野 千壽子



平成27年度 豊中親和会後援会役員

顧問	渡邊 稔 名迫 弘	書記	岡本 寿嘉子 田中 栄子	参与	石橋 志津子(兼)
会長	前川 満枝	会計	中井 孝子	監査	前田 英子
副会長	尾上 玲子 長島 恭子 石橋 志津子 (原田校区福祉委員)	幹事	雑賀 正子 寺野 千壽子 遠山 琴枝 石外 好子		村山 三代 (原田校区福祉委員)



物品販売のご案内

商品名	販売単価	商品名	販売単価
静岡産煎茶(200g)	860 円	すりごま(90g)	310 円
静岡産煎茶(100g)	430 円	三色もろこし(150g)	310 円
万能茶(400g)	510 円	おいしい飴各種	170 円
発芽黒豆茶ティーパック(20 袋)	610 円		

いつも物品販売にご協力いただき、誠にありがとうございます。平成26年度の販売利益(物品・バザー品・手作り品等)が、536,156 円ありました。これも皆様方のおかげと感謝しております。今年度も、なかまの店やいろいろな催しに出店いたします。皆さまと共に頑張っていきたいと思っておりますので、これからもよろしくお願ひします。



豊中親和会後援会だより第26号 編集後記



知的障害、発達障害、身体障害、いろんな障害があっても、元気に豊中親和会の事業所に通っていく利用者たち。

幼い頃、初めて迷子になった時一緒に捜しまわってくれた地域の人々。躰がなっていないとしかられた日々。地域の学校で無条件で受け入れ愛情いっぱい可愛がってくださった先生方。うまく付き合えなくても一緒に駆け回り遊んでくれた同級生。他にもたくさんの人々に支えられて成長してきました。今、自分たちより若い支援者が多くなった事業所の中で、見守られて毎日通えるところがある幸せ。言葉がなくても絵カードを使って選択させたり、いろいろ工夫してくださっていることに感謝しています。

親亡き後のことを考えると先々不安があるのも事実です。豊中親和会の『中・長期計画』に期待しながら、後援会員として出来ることを皆さまと考えながら、進んでいきたいですね。今後とも、後援会にご支援ご協力をお願いします。 豊中親和会後援会役員一同

更新・入会のお願い

後援会賛助会員募集

賛助会員  
個人年間 一口 3,000 円  
団体年間 一口 10,000 円  
寄付でのご協力もお願いします  
申し込み先: 豊中親和会後援会  
社会福祉法人豊中親和会内  
(TEL 06-6868-9701)  
郵便振替: 00970-2-176038



# 豊中親和会 後援会だより

発行者 豊中親和会後援会  
住所 〒561-0881  
豊中市中桜塚4-8-13  
ミレ桜塚4F  
社会福祉法人豊中親和会内  
電話 06-6868-9701  
FAX 06-6868-9702  
頒価50円

第13回豊中親和会後援会通常総会

平成27年5月8日豊中市立福祉会館において第13回通常総会が開催され、全ての議案が提案どおり承認されましたことをご報告いたします。(総会当日総正会員数96名、出席者43名、委任状提出者29名)

尚、資料は3ページをご参照ください。

会長挨拶



豊中親和会後援会会長 前川 満枝

今年も例年通り、午前中の「豊中市手をつなぐ育成会」総会に引き続きの「豊中親和会後援会」総会で、会員の皆様にはお疲れのところ、ご出席いただきましてありがとうございます。またご来賓の皆様にはご多忙にも拘わりませずご臨席賜り、誠にありがとうございます。

この一年間、会費納入、物品販売など皆様方のご協力により滞りなく予定の事業を行うことができました。改めて御礼申し上げます。

また昨年秋には「社会福祉法人豊中親和会」と正会員との懇談会を開催、機関紙25号にその報告を掲載させていただくことができました。引き続き法人が『中・長期計画』を策定されるに当たり、利用者の家族(正会員)に意見を求めてくださり、待望の『中・長期計画』を策定されましたことは私どもも大変心強く大いに期待しております。

厳しい社会情勢ながら、障害者への支援制度は多岐にわたり充実してまいりました。豊中親和会におきましても数々の事業に取り組んでくださり、心丈夫に思っておりますが、利用者・家族の高齢化は避けて通れぬ切実な問題で、もはや直面しているのが現実です。

計画に織り込まれましたグループホーム、ショートステイや宿泊訓練・生活介護事業所など、数々の事業の早期実現にむけて、後援会といたしましては、会員の皆様の汗の結晶と多くの方々のご支援が実を結び、彼ら利用者の笑顔につながりますことを信じ、力を合わせて資金集めに努めてまいりましょう。

なお、法人事務所が移転されましたことを受け、後援会事務所も多機能型事業所みらいより法人本部に移転させていただくことにいたしました。また、役員役職変更や今年度の事業など、後ほど議事の中でご審議くださいますようお願いいたします。

はからずも知的障害者の親としての運命を背負った私たちです。彼らの幸せを願って豊中親和会が設立されたのは平成13年10月ですので今年は足掛け15年になり、その手作りの法人を支援すべく翌年5月に後援会は設立されました。行政からの支援に頼るだけでなく温かい施設作りをめざして、我々も可能なかぎり協力していきたいと願っています。皆様方のたゆまぬご支援に感謝いたしますとともに、今後ともご協力をお願い申し上げます。 豊中親和会後援会役員一同

## 来賓ご挨拶

前豊中市議会議員 豊中親和会後援会顧問 渡邊 稔

皆さんこんにちは。只今ご紹介をいただきました渡邊でございます。ひと言ご挨拶申し上げます。

豊中親和会後援会の通常総会が、盛大に開催されました事に対して、心からお喜び申し上げる次第でございます。

皆様におかれましては、平素より、障害をかかえられた方々の自立と社会参加の促進に、精力的に取り組まれてこられたことに対し、また、あわせて、たゆまぬご活躍と大きなご功績に、心より敬意を表し、感謝申し上げます。

さて、市の障害者施策の動向ですが、昨年度3月、第4期豊中市障害福祉計画が策定され、これまでの各実施状況を踏まえた上での、今年度から平成29年度までの障害福祉サービスの見込み、及びその確保のための方策が示されたところでございます。

また、本市では、平成 28 年度より施行される障害者差別解消法に向けて、障害者施策推進協議会及び付属機関等を活用しながら、全取り組みがありますことと拝聴いたしております。

こうした障害者施策が実施される中で、障害者の完全参加と平等の理念を持ち、障害者ひとりひとりに寄り添った福祉施策が推進されるよう、引き続き注視をしてみたいと思っております。

これからも皆様方がこの町豊中で、生き生きと住み、輝いていかれるよう努力してまいりますので、引き続きご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

豊中親和会後援会通常総会のご盛会と、限らない会のご発展、皆様方のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。 (ご挨拶の一部を掲載させていただきました。)

## 社会福祉法人豊中親和会謝辞

社会福祉法人豊中親和会理事長 星屋 好武

後援会の皆さまには法人に対して、多くのご支援とご協力を戴き、深く感謝しお礼申し上げます。

法人では、昨年より皆で検討を進めて策定した『中・長期計画』が、今年4月からスタートしました。会員の皆さまの切なる要望にもお答え出来るように検討を進め、職員全員が具体的に実施に向けて努力していきます。

昨年度には、人事制度について人材育成を目的に、評価制度を導入し実施しています。

また、みらいでは昨年度、第三者評価を受審しました。第2みらいも今年度、受審に向けた準備を進めています。

さて、昨年より厚生労働省が検討を進めてきた、社会福祉法人の制度改革が、国会に提出されました。

これにより、社会福祉法人の組織と運営が大きく変わることになります。今後法人としては、皆さまの強力なご支援とご協力の下で、支援の質の向上、グループホーム、ショートステイの場所等々、障害者の安心安全な場所作りに向けて努力してまいります。今後ともよろしくお願いいたします。

(ご挨拶の一部を掲載させていただきました。)



## みらい

## 春の行事 ア・ラ・カルト

### ● 味覚狩り(イチゴ狩り/能勢フルーツファームカラット) ●

4月24日(金) 生活介護 生活支援員 吉見 祐樹

出発してからまず道の駅「能勢」で昼食を摂りました。今回は「カレー」「ばら寿司定食」など利用者の皆さんに決めていただきました。その後、カラットへ移動し、イチゴ狩りを楽しみました。45分という限られた時間でしたが、利用者の皆さんはそれぞれたくさんのイチゴを上手に摘まれて、おいしそうに食べておられました。煉乳のかかったイチゴはとりわけ絶品でした。



5月8日(金) 就労B型 生活支援員 新田 浩史

温室の中には真っ赤に熟した苺が栽培棚に広がっていて、配られた収穫用のトレイを持ち棚の間に入って行きました。温室のあちらこちらで「この苺大きい！真っ赤や！！」などと歓声をあげながら収穫しておられました。

温室内に設けられているテーブルで、さっそく収穫したての苺に練乳をかけ頂きました。「甘っ！」「これも～ひとつや！」「もう一回採って来よう！」など言いながら、短い時間でしたが、みなさんお腹いっぱい苺を堪能されていました。

帰りのバスでは、「また来年も味覚狩りに行こうな！」と気の早い会話が飛び交っていました。



### ● ふれ愛ひろば(原田小学校) ●

5月23日(土) 生活支援員 横山 直哉

原田校区福祉委員会のボランティアの方々が中心となり、原田小学校、豊中第一中学校のご協力のもと開催され、みらいはスタッフ共々全員参加させていただきました。

今回は第一中学校のブラスバンド演奏、みらい利用者のドラム演奏、参加者全員でのゲーム、最後はブラスバンド演奏という流れで運営され、最後に鎌田潤子さんがみらいの代表としてお礼の挨拶をしていただきました。

今回初めて曾和孝信さんがドラム演奏の腕前を披露され、会場の皆さんから盛大な拍手を受けられていたのが印象的でした。

「楽しかった～」「次回はクリスマスの時期やんなあ」と、皆で話しをしながら、お土産を手に会場を後にしました。毎年このような楽しい催しにお招きを頂き、地域の皆様方には只々感謝するばかりです。

